

プログラム名		プラスチック板工作		時 間	1～3時間
ねらい		1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。 3 自然のものを使用することにより「玄海の家」での活動の思い出とする。			
活 動 内 容		1 活動形態 → 個人あるいはグループ（4～6名程度） 2 内 容 → プラスチック板に、イラストや自分が思い描くかたちのものを書き、それを焼くことによって作品を制作する活動。			
対 象		制限なし	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	1 集 合 ・ 食堂売店に申し込みと事務室への連絡 ・ 指定された場所と時間に集合（入所時に確認） ・ グループの場合は、グループごとに集合 ・ 参加人員と健康状態の把握				
	2 事前指導（「玄海の家」指導員・約10分） ・ 活動道具の準備、配布 ・ 説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等）				
	3 活 動 ・ プラスチック板に油性マジックペンで絵を書く。 ・ プラスチック板を好きな絵に切る。 ・ ホルダー用の穴をパンチであける。 ・ オープントースターで平らになるまで加熱する。（約1／4の大きさ、4倍の厚さ） ・ ガラス板で熱いうちに軽く押さえる。 ・ ホルダーをパンチで取り付ける。				
	4 事後指導（各団体） ・ 道具の後片付け、ゴミの処理 ・ 人員確認および借用物の確認と事務室、食堂売店への返納 ・ 評価と反省				
実 施 上 の 留 意 点		1 研修室の使用などがあるでの、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 創作活動であるため、十分な時間の確保が必要。 3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導として「玄海の家」職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返納は職員の点検を受けて確実に行う。 5 物品の購入および支払いは、すべて食堂売店で行う。 6 刃物、火気を使用する場合は、ケガや火傷がないように十分注意する。 7 細かい作業は、必要に応じて指導者が行う。			
引率者の役割		オープントースター取り扱い、用具の管理			
「玄海の家」で準備できる物		オープントースター（5）、パンチ、ペンチ、はさみ、下絵用イラスト、ガラス板、軍手			
利用団体で準備する物		下絵、（食堂売店から購入一人120円：プラスチック板、油性マジック、ホルダー、クッキングシートもしくはアルミホイル）			